

目次	2
熱烈応援 田元孝子	2
感謝のお手紙 入江博之	3
出張報告 關秀一	4
出張報告 山本哲史、松田英之	5
田村雅一先生『思いつくままに 春の段』紹介	5
受賞報告 橘知佐	6
母の日特別企画 中谷朱里・美乃里	10

www.chikamori.com ● 高知市大川筋一丁目1-16 tel. 088-822-5231
 発行●2019年5月25日 発行者●近森正幸 / 事務局●寺田文彦

平成から令和へ、 近森病院の10連休への救急対応

近森病院救命救急センター センター長 根岸 正敏



GW中の救急医療

平成から令和へと、元号が引き継がれたゴールデンウィーク中の10連休が終わりました。初の10連休は、仕事を休めない人の動向や行政サービスの対応、特に救急医療への不安が連日マスコミ報道されていました。

2カ月前から医療体制の検討

近森病院では2カ月前から連休の

医療体制について検討が行われ、公的病院が連休体制をとるなかで、高知県の救急を担う救急救命センターとしての受け入れ体制の強化をはかることとしました。

4月30日～5月2日は平常体制

連休の中間、4月30日から5月2日までの3日間は平常体制としました。これは、普段は仕事で病院を受診できない方、この休み期間でなければ手術など入院ができない方などもおられ、それに対応するためでした。また救急対応に関しては救急科をはじめ医師、看護師などを増員し対応しました。また例年GW期間の入院でベッド確保が困難になるという状況から、今回は4月頃から連休中の入院患者さんに必要なベッドを確保するために早めの対応を行いま

した。これらの対応の結果、救急車の受け入れ件数は例年（平日を含めて10日で計算）に比し30件ほどの増加となり、自力での受診患者さん、入院患者数ともに例年を上回りましたが、大きな混乱もなく対応することができました。

「すべては患者さんのために」

公的病院がほぼ暦通りのなかで、また働き方改革が叫ばれるなかでの今回の対応は、近森病院職員全体の気持ちの表れですが、今後は職員の労働条件、環境の整備をさらに充実することも必要と考えます。

しかし、いつでも忘れてはならないのは、「医療は誰のもの?」、「すべては、患者さんのために」の気持ちではないでしょうか。

ねぎし まさとし



▲ ER受診件数（救急搬入・自力受診）のピークは5/5の122件、4/30の120件だった

*内、4/30、5/1、5/2の3日間は通常診療体制





家に帰ろう

在宅看護専門看護師

近森病院地域医療連携センター 看護師長 山本 詩帆

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築が推進されています。急性期病院である当院もそのシステムの一員として医療の分野を担っています。

当院には高知市だけでなく高知県の各地域から多くの患者さんが入院

あるいは外来通院しています。疾患や障害があっても、患者さんやご家族が暮らしたいと思う場所に帰り、療養生活が続けられるようにするためには、病棟と外来、そして地域のスタッフとが連携し、多分野・多職種チームで支援することが重要です。「在宅」とは自宅だけでなく、入所している介護施設なども含み、人の生活の場を広く表す言葉です。また「在宅看護」というと訪問看護のイメージがあるかと思いますが、病院からの在宅移行支援いわゆる退院支援や、

外来で行う療養支援も在宅看護の重要な領域です。退院支援は決して特別なものではなく、患者さんやご家族の意向に沿って退院後の療養生活を組み立てる継続看護そのものであり、当院の強みである多職種チームで行ってこそ、より質の高いものとなります。

今後も病院から在宅へ、医療・看護・介護につながる退院支援・在宅療養支援の仕組みづくりに取り組んでいきたいと考えています。

やまもと しほ

乞！熱烈応援

笑顔でチャレンジ



高知ハビリテーリングセンター
生活・訓練部障害者支援施設入所
主任 田元 孝子

近森会で急性期・回復期・維持期、縁あって診療所を経て、当センターに勤め4年目になります。

今回、未経験の施設入所の主任となり、重責を感じています。施設の充実を図るため、自分の出来ることは何かを考え発信し、職員や利用者の皆さんの協力を得て実践し、看護師人生の集大成にしたいと思います。ご支援宜しくお願い致します。

たもと たかこ

6月の歳時記

あじさい

近森病院
作業療法士 濱田 真菜



6月は梅雨で寂しい雰囲気がありますが、そんな中でもあじさいの花は豪華でパツと華やかな印象を与えてくれます。あじ

さいの花言葉は「謙虚」「強い愛情」などたくさんの花言葉があります。私は経験がまだまだ浅いですが、患者さんや同僚など関わる人にあじさいのような素直な態度で華やかな雰囲気を与えていきたいと思っています。 はまだ まな



● 近森看護学校通信 34 ●

近森病院附属看護学校に入学して

近森病院附属看護学校1年 氏原 璃乃

近森病院附属看護学校に入学して早2カ月が経ちました。入学前はこの学校でやっていけるか不安でしたが、同じ志を持つ人達が集まっているのですぐに打ち解けることができました。

授業は静かな環境で安心して学ぶことができ、高知大学の教授や近森病院の先生方、そして校長先生からも授業を受けられる素晴らしい学び

舎だと感じました。

私は勉強をするためにこの学校に入学しましたが、勉強面以外でも学生全体が楽しめるさまざまなイベントがあり、これからの学生生活が充実しそうな予感です。私の目標は国試合格ですが、まずは目先の科目試験を頑張りたいです。

うじはら りの

感謝のお手紙をいただきました

兵庫県神戸市在住 30歳代女性の患者さんより

「救急リレーによって救命できました」

近森病院副院長
兼 心臓血管外科 主任部長 入江 博之



早朝に呼吸困難等で救急搬送された患者さんです。搬送中に意識消失、

心肺停止となり救急隊の蘇生術ならびに AED(除細動装置)により治療を

受けつつ当院 ER に緊急搬入となりました。

そのまま心肺蘇生を継続し、心臓カテーテル室に搬入されました。ミニ人工心肺により循環動態を維持し、冠動脈カテーテル検査により重要な血管の閉塞ならびに他の血管の高度狭窄が認められました。直ちに緊急冠動脈バイパス術を行ったことにより救命することが出来ました。

この患者さんを救うことができたのは、宿泊先のホテルならびに救急隊、さらには ER、心臓カテーテル室、手術室、集中治療室といった多くのスタッフの力があってこそだと思います。高知県の救急医療を担う救命救急センターとして、今後ともこのような患者さんを無事に自宅にお返しする事が出来ればと思います。

最後になりましたがわざわざお手紙を下さいました患者さんには感謝するとともに、今後の日常生活への完全復帰、そしてお子さんとの楽しい生活を祈念しております。

いりえ ひろゆき

患者さんからのお手紙です。許可をいただき掲載します

拝啓
弥生の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
昨年 月末に心臓血管外科に入院し、 月 日に退院した でございます。
入院中は大変お世話になり、本当にありがとうございました。お礼の手紙が送るべき、申し訳ありません。
退院後は順調に回復し、家事はもちろん、息子の幼稚園の行事にも参加できるようにになりました。以前のようにはスムーズに歩けるようになり、長い距離も問題なく歩いて移動できるようになりました。これも早期よりリハビリをして頂いたおかげです。

退院後に診察を受けている神戸の病院では、ここまでしてくれる病院は中々ない、本当によかったですねと紹介状を讀んだ先生に言われました。近森病院ではたくさんの方に、お世話になりましたが、どの方も優しく親身になって接してくださいました。改めて感謝の気持ちを書いておきます。
次は仕事への復帰を目指したいところですが、焦らず皆様に救って頂いた命を大切に日々頑張りたいと思います。この度は本当にありがとうございました。
忙しい日々の連続かと思いますが、どうぞご自愛くださいませ。皆様のご活躍を心より祈念しております。
敬具

【2019年5月現在】検査の結果、仕事復帰の許可も出て、息子さんのお迎えも自転車で行っているとのこと。

近森病院 インターンシップ

消化器コース
整形外科コース
ER/集中病棟コース
外来在宅コース
まるごとコース
(チーム医療体験)

その他研修に応じて、アレンジ可能

必修科目
ユニフォーム(実習服)
スニーカーなど(歩きやすい靴)
筆記用具

※ 風呂は直轄でご用意します

参加希望の2週間前までに、下記のいずれかの方法でお申込みください。
▶ 所定の参加申込用紙にご記入の上、
▶ ホームページの看護部ページから
▶ 郵送・持参または FAX

2020年度 看護職員採用試験

日時 2019年 7/27(土)28(日)

申込方法 履歴書・成績証明書(看護師など養成機関に在学中の方で、出席状況の記録を含むもの)を7/1~7/12 17:00 必着で郵送またはご持参ください。

おたしたちと一緒に働きませんか?

freedom & flexibility
時代のニーズに柔軟に、そして自由な発想で...

近森病院附属看護学校 パンフレット完成報告

近森病院附属看護学校

2020



第24回アジア太平洋 経カテーテル心臓血管治療学会議のご紹介

近森病院循環器内科 部長 關 秀一



▲執筆者右、左は末吉先生

4月27日から4日間、韓国（ソウル）にてTCTAP 2019が開催されました。TCTAPとはTranscatheter Cardiovascular Therapeutics Asia Pacificの略で、冠動脈や末梢動脈疾患、心臓弁膜症などの循環器領域でのカテーテル治療を対象とした学会です。韓国をはじめ日本やその他のアジア諸国から多数の医師が集まる、アジアの中心的なライブコースでもあります。日本から多くのファ

カルティ（指導者）が招待され、また若手医師にとっては研究や症例を英語で発表できる、国際学会の登竜門的な学会でもあります。今回当科からは、山本・松田が症例報告を行いました。

数年前に下肢動脈血管内治療について講演したのを契機に、毎年ファカルティとして招待されるようになり、私の担当した分野では、2年前まで当科で頑張っていた末吉先生が

症例を報告され、成長した姿を韓国でみる事ができました。私は、韓国・日本・台湾のエキスパートミーティングの役割もあり、そこでは最先端の治療法について有益な議論ができました。

当院の若手医師も、積極的に国際学会での発表に取り組み、自分の世界を拡げていただきたいと思います。せき しゅういち

リレー エッセイ

ピカピカの1年生

近森病院7階A病棟 看護師 中山 清美

春は旅立ちの季節と言いますが、我が家の長女もこの4月から晴れて小学1年生になりました。つい先日までイヤイヤと泣いていた子供が今ではピカピカのランドセルを背負って凍々しい顔で「いってきます！」



と家を出て行きます。頼もしい限りですが、やはり親としては通学が心配です。

保育園に通っていたときは毎日送り迎えがありましたが、小学校では子供1人で歩いて通わないといけません。幸い子供の足でも学校まで10分ほどで道もほとんど真っ直ぐの一本道ですが、朝は交通量も多く、自転車通学の学生さんもたくさん通ります。そこで、過保護かもしれませんが毎日送り迎えをしています。自分や夫、おじいちゃん等、その日休みの大人が学校まで付いて歩いています。

子供の自立の妨げにはなってしまうかもしれませんが、家では忙しくなかなかゆっくり話を聞いてあげられないので、通学の時に子供と話をしながら歩くのはとても有意義な時



間に感じます。新しいお友達の話、お勉強の話、先生の話と話題には事欠きません。

立派なお姉ちゃんになった、と感心させられることも多くあります。我が家には3歳になる次女もいますが、長女が小学校にあがったことにより寂しくなったようで、「しょうがっこういきたい！1ねんせになりたい！」と、毎朝大泣きをしています。

次女も3年後にはピカピカのランドセルを背負って、大好きなお姉ちゃんと手をつないで小学校に行くのでしょうか。3年後の春が楽しみです。

なかやま きよみ

悔しさを来年につなげて

近森病院循環器内科 部長 山本 哲史

今年も TCTAP に参加し、症例報告を行って参りました。本会への参加目的は若手医師に英語での口演発表の第一歩を踏んでもらうことです。今年の若手として松田先生と参加し、別記の如く立派に発表していただきました。

本会の症例発表は Case Competition の形式で行われ、1セッションあたり、5-7 演題の中から最優秀演題が選ばれます。私は若手と呼べる年代ではなく、今回もこの最優秀演題獲得を目指し準備をしてきました。

演題名は "Intravascular Ultrasound Guided Switchback Wiring For

Chronic Total Occlusion" で、冠動脈の慢性完全閉塞 (CTO) に関する演題でした。やや難解なワイヤー操作に関するテクニックを、動くシェーマも交えて紹介しました。このシェーマで小さな笑いを取る事は出来ましたが、残念ながら最優秀演題には手が届きませんでした。

大阪の私の出身医局の後輩たち(今はそれぞれ別の病院で働いていますが)と、毎年参加していますが、何人かは今年も最優秀演題を受賞しており、幾ばくかの悔しさを感じました。そして、これも毎年の恒例ではありますが、夜は韓国料理を囲んで

の会合です。この日はカンジャンケジャンというカニ料理に舌鼓を打ちました。お互いの近況の報告や、その日の発表のレビュー、明日の発表の戦略等々、よもやま話にも花が咲き、楽しい時間でした。来年の最優秀演題を目指し、日々の臨床に励みたいと思います。 やまもと さとし



初韓国、初国際学会、初英語での発表ということでも緊張しましたが、川井先生、山本先生等のご指導のおかげでなんとか無事(?)やりきることができました。アジアの中でも、カテーテル治療における考え方が全く異なっており、いろんな治療方法、考え方に触れとても刺激的な日々を送ることができました。私は「A Case with Proximal RCA Disease Presenting Different 4 Types of Stenotic Events within 8 Years」という題名で頻回な再狭窄を認めた難しい病変に対して工夫した治療の症例を発表してきました。狭心症、心筋梗塞を治療するカテーテル治療の分野もどんどん新しい機械が発明され、治療の選択肢が増え、より綿密に計画、治療することによりできることがどんどん増えていき、難しい

初めての国際学会

近森病院循環器内科 松田 英之

症例も治療できるようになってきました。しかしながら、当然のごとく日々精進を怠ると、どんどん取り残されていきます。これからも日々精進を怠らず、いろんな考え方を取り

込みながら、みなさまに信頼していただけるような医療を提供できるように努力していきたいと思ひます。

まつだ ひでゆき



どんな薬よりも効くクスリ

精神科の田村雅一先生

『遺言の代わりに』に次ぐ 2 作目を出版

田村雅一先生の多発性動脈血拴塞栓症での緊急入院は 2013 年秋。肺炎の反復などあり、翌年胃ろうを造設。

主治医の浜重直久内科部長は、關秀一先生や葛目大輔先生と共に外来診察でずっと関わってこられました。

2 作目の巻頭言で浜重部長は、「普通ならヤケになりそうところですが、弱音も吐かず、毎回背筋を伸ばし静かに外来に入ってこられ、なんと我慢強いかただろうと感心しながらも、まあしょうがない状態かなあとも…」が、さらに「どんな医者や薬よりも効くクスリ」があることを田村先生に教えられたとも、実は述べられているのです。



北方領土問題や沖縄の基地負担、中国の世界支配や原子力発電、また「不眠に悩む人のために」「消費は美徳か」「捕鯨について」「少子高齢化問題」等々、周りにいっさい忸度なし! の潔さは、痛快感と快哉を叫びたい! ような喜びを与えてくれます。

お求めは総合心療センターの清水秘書 (内線 6839)、または金高堂本店へお願いいたします (税込み 1,000 円)。



優秀演題賞をいただきました

近森病院臨床検査部

副技師長 橘 知佐



第 60 回日本呼吸器内視鏡学会中四国地方会で発表した演題、「気管支内視鏡 (EBUS-GS,EBUS-TBNA) における迅速細胞診と細胞検査士の役割」について、コメディカルセッション 優秀演題賞をいただきました。

気管支内視鏡検査での迅速細胞診は高知県内や全国的にも実施してい

る施設は少なく、普段、病理検査室の顕微鏡で悪性細胞を見つける細胞検査士として、もっと、患者さんのために、チーム医療に携わることがないか考え、実践してきた役割が学会で評価されたことは大変光栄に思います。

たちばな ちさ



私の趣味

「花へんろ足摺温泉ジョン万ウォーク」をきっかけに！

近森病院 教育担当副看護部長 森本 志保



これまで健診のたびに運動不足を感じており、体調を気づかい運動を始めたいと思っていました。そんな時、近森副部長より、「花へんろ足摺温泉ジョン万ウォーク」へのお誘いがあり、工藤副部長・斉藤副部長、久保師長と参加してきました。

足摺ジョン万ウォークは、「雄大な太平洋と真っ白な灯台、その周りを赤く彩る椿、足摺岬がとても美しい時期に遍路道や遊歩道など足摺半島をウォーキングする大会」です。全国各地から多くのウォーカーが訪れます。

私たちの参加したコースは、15キロのコースでしたが、ゆっくりと

自然を楽しみながら、ウォーキングすることができました。参加したそれぞれが、これまであまり運動習慣がなかったため、事前に週に2回ほどのペースで歩いたり、ジムに行ったり、テニスを始めていたこともあり、全員がなんとか完歩することができました。

今回参加したことで、なかなか始

められなかった運動も現在は続けて行うことができるようになっています。まだまだ「私の趣味」とは言えませんが、今後も自分たちのペースで、楽しく運動ができる機会があればいいなと思っています。

何か楽しく体を鍛えるイベントがあれば・・・ご紹介ください。♪♪

もりもと しほ



お弁当拝見 72 自慢の母が作るお弁当



近森病院

北館 2 階病棟 磯崎 早織



私は節約し家族旅行をプレゼントできるように、なるべくお弁当を作るようにしています。

時々私が疲れたときには代わりに母がお弁当を作ってくれます。母がつくってくれるお弁当は赤・黄・緑

を入れ彩りよく、私を和ませてくれます。

忙しく大変であるにもかかわらずお弁当を作ってくれる母には感謝しています。私も将来は母のように忙

しくても子どものことを考えられるような親になりたいです。

いそぎき さおり

末梢神経・筋超音波検査 講演会のご報告

近森病院リウマチ

膠原病内科（脳神経内科兼任） 科長 吉田 剛



平成31年3月28日、徳島大学神経内科の高松直子先生をお招きし、講演会を開催いたしました。

末梢神経・筋の超音波検査は、近年急速に普及が進んできており、様々な神経筋疾患の診断及び治療経過のフォローに有用性が期待されています。高松直子先生は臨床検査技師として長年この分野で活躍されてきた第一人者であり、多くの著書を出版



▲演者として徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床神経科学（神経内科）臨床検査技師 高松直子先生をお招きしました

されております。

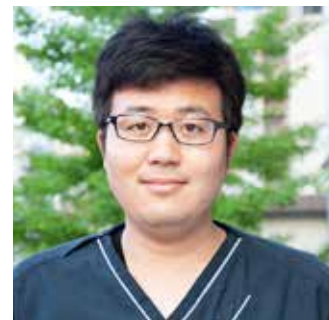
今回は、院内外問わず多くの検査技師・医師のご参加をいただきました。内容は正常の神経及び筋の描出から始まり、次いで個々の疾患における異常像の同定および臨床応用についてお話いただきました。

参加された方々は、皆メモを取りながら熱心に聴講されていたのが印象的でした。今後はハンズオンも取り入れる形で、より実践的な内容での開催を考えています。

本講演が、高知県における末梢神経・筋疾患の診療の質の向上に繋がると確信しております。

よしだ たけし

環境



初期研修医 堤田 慎

今年度1年間近森病院でお世話になります。高知大学・近森病院たすき研修プログラムの堤田慎と申します。愛知県の小牧市出身です。縁もゆかりもなかった高知ですが、通算7年目になりました。しかし、未だに高知の料理に舌鼓を打ち、自分の腹囲を増やす日々を送っております。

現在、循環器内科にて研修をさせて頂いております。実際に近森病院に身を置くと、学生の時とは全く世界が変わって見えます。特に感じることは、働いているスタッフの方々の専門分野に対する知識の深さと懐の深さです。現場で全く動けていない私に対しても、わかりやすく、様々な知識や技術を教えて頂いています。机上の知識しかない私にとって、生きた医療の中に身を置ける幸せを噛みしめている毎日です。

春も終わり、暑い夏が近づいてきています。高知の医療を支えているという熱い情熱のあるこの近森病院で、夏の暑さに負けない熱い思いで働く皆様と共に動き回り、少しでも減量できたらなと思います。1年間よろしくお願い致します。

つつみだ しん

障害者雇用の実現のために

近森会障害者雇用支援マネージャー

近森会健康保険組合 事務局長 田村 裕彦



4月24日に「障害者雇用の実現のために」をテーマとして、高知障害者職業センターの主催する平成31年度事業主支援ワークショップが当院管理棟で開催されました。

参加者は公立病院、県公営企業局、市内民間病院の担当者をはじめ、高知障害者職業センター、高齢・障害・求職者支援機構高知支部、ハローワーク等、関係機関を含め11名の参加がありました。

今回、私は主催者より依頼があり、近森会の近況や事例を紹介することで参加し、ここ10年間位の障害者雇用に関する取り組みや実績、途中からマネージャーとして活動し

感じたことや、得られた効果、多くの失敗などを織り交ぜながら、事業主の持つ「分かってはいるがどうやって・・・」という思いについて、関係機関ともども円滑な障害者雇用に向けた意見交換ができたと思います。

つい最近、障害者雇用率について、公的機関がクリアできていないという問題が出たこともあり、障害者雇用への関心が急激に高まっているように感じます。

ちなみに近森会では2.2%の雇用率が必要ですが、4月1日時点では総務課の尽力によりクリアできています。たむら ひろひこ

献血キャンペーン

ありがとうございました。

5月22日(水)に献血キャンペーンを開催し、◆名の方にご協力いただきました。ありがとうございました。

ニューフェイス

- ①所属②出身地③最終出身校
④自己アピールなど



徳重 美香

とくしげ みか①消化器内科非常勤医師②富山県③高知大学④2年ぶりに近森病院に帰ってきました。その間に子供が1人増え、家では息子3人の子育てに奮闘中です。

踊り子募集!

2019年よさこいチーム「ちかもり」

近森会グループ職員、職員家族、
近森病院附属看護学校学生、関連会社職員様、ご友人

祝!
10回連続
出場

2019年
8月10日
▶11日



踊り子は引き続き募集中です。
フラフは満員御礼!
ちかもりよさこい10周年の夏と一緒に楽しみましょう!

「ちかもり」踊り子募集詳しくは募集要項をご覧ください 撮影:宮崎 延裕 先生

人の動き 敬称略

職員対象 第93回

チカモリ・シネマクラブ

おめでとう

2019年4月の診療数 システム管理室

近森会グループ	
外来患者数	18,153人
新入院患者数	999人
退院患者数	1,021人
近森病院(急性期)	
平均在院日数	13.00日
地域医療支援病院紹介率	84.20%
地域医療支援病院逆紹介率	289.17%
救急車搬入件数	565件
うち入院件数	303件
手術件数	447件
うち手術室実施	304件
うち全身麻酔件数	189件

● 2019年3月 県外出張件数 ●
件数 33件 延べ人数 71名

編集室通信

人生で一度は!と思っていたフルマラソンにチャレンジ。大会の完走賞であるティファニーのペンダントを無事獲得しました。挑戦を決めてから半年。減量が思うようにならず、実質1カ月の練習で臨みましたが、元気に42.195キロ楽しみました。摂生していた醸造酒も完走当日から解禁。少し好きになったランニングは続けています。(陽)

体力気力充実、伸び代に期待

チームワーク良く、明るい雰囲気で

最新式CTの撮影室が空いているので、まず仕事風景を撮影しよう！と。すると、先輩技師の久保行広主任と三浦高史さんが目ざとく見つけて、すごく恥ずかしがる後輩技師に、どんなポーズがよいか色々手本を見せてくれる。冷やかし甲斐のある後輩を見て、楽しそうな二人。

▼先輩、冷やかさないでくださいよ～



画像診断部のチームワークの良さや雰囲気の明るさが、こんなちょっとした場面にも出ているようだ。

中村技師長イチ押し「期待の若手」は、「技術を早く覚えたい！と仕事には熱心だし、患者さんへの対応も優しい。オフには自転車で岡山まで行くパワーもある」と、体力も気力も充実した伸び代が嬉しいようです。

「骨が見える仕事」に就きたい

一つ上の兄について小学2年から始めたサッカーでは、最前線のフォワードのポジションに手を挙げた。「得点に結びつきやすい位置がよかった」という積極性が、周りを勝ちムードにし、自身も楽しんで関われる秘訣なのだろうが、その分、ケガは多かった。骨折でしばしば整形外科にかかるうちに、「骨が見える仕事」に興味に向くようになった。高校卒業

後の進路は、高知県からいちばん近くて画像診断を学べる岡山の大学へ行くことにした。迷いなし。

離れてしみじみ、土佐人の情の熱さ

卒業後、就職するならやっぱり高知に帰りたいと思ったのには、わけがある。高知を離れたことで、改めて「高知の人たちの温かみが分かった」ためだった。

岡山の人が情に欠けるということではなく、「高知の人情は特別なんだ」と、これは故郷を離れた友人たちと学校の休みに会うたび、話していたことでもあったという。

気やすく仕事を教えてもらえる

近森病院を目指したのは、救急で症例も多く、患者さんも多く、色々勉強できると思ったからだった。

担当部署が毎日替わるおかげで、どの検査機器でもさわれるようになり、自信が持てないと思った機器については、手が空いたときに見に行つてさわれ、必要に応じて気やすい先輩に教えてもらえる。これも「やっぱり高知の近森病院で働けて嬉しい」と素直に喜べる点だとか。

県外で、「人間関係にそれなりの距離を取る人たち」に囲まれて過ごしてきたから、就職して丸2年、余計に土佐人の温かさが身にしみてしまうところもあるようだ。

自分のじいちゃんというみたいに

春野の新興住宅団地に幼い頃から住んでいて、周りはみな顔見知りのなかで大きくなった。共働きの親に代わっておじいちゃんにみてもらっていたためか、サッカーに加えて「釣りと相撲」が趣味という渋い面も持っている。

おじいちゃんといっぱい話していた思い出が強く、高齢の患者さんに

は「つい自分のじいちゃんというみたいに思えてしまう」部分もあり、それが患者さんには「声をかけやすい、優しい技師さん」に映ってみたいようだ。

ご褒美は上等なオフロードバイク

おじいちゃんは「なんでも一人で作れる人」だった。料理が得意だったり、ランの花を山に行つて見つけ、ビニールハウスを作って育てたりと、趣味を色々極める姿も印象深く、そんな点もいまの岩戸さんに影響を残しているようにも見える。

が、なにごとにつけ「極める」のはなかなか難しい。で、いまの悩みは「釣りが上達しないこと」だとか…。「レキが違うので、周りのおじさんたちにはいかにないでしょうが…」と、本当にちょっと深刻な表情になるのがなんとも微笑ましい。周りがいっぱい釣れているなか「自分の取り残され感」が淋しい(笑)のだとか。

夏はオフロードバイクにも乗っている。一年間働いたご褒美に上等なものに買い換えた。思い出の多い岡山までしまなみ海道を独りひたすら走ることにも、ときどき挑戦する。岡山周辺に住む友だちに会うためだ。

「朝早く出たら午後3時頃には着きます！」。体力も気力もあるというのは例えばこういうことか、海を自転車です…。185センチ、70キロ。その逞しさや我慢強さが眩しいような…。



◀冬の趣味の一つ。こんなグレが釣れました、やった～！



母でもあり 友達でもあり 先輩でもある 母へ



筆者左

近森病院 6階A病棟 看護師 中谷 美乃里 (妹・執筆)
近森病院臨床工学部 臨床工学技士 中谷 明里 (姉)

4月から看護師として近森病院に就職して約1か月が経ちますが、看護技術や病棟でのことなど、たくさん覚えることがあり1日があっという間に終わる日々を送っています。

働き出してから同じ看護師として働く母の凄さを改めて感じています。母は仕事を終えて疲れているはずなのにその様子を一切見せず、家で料理を作ったり洗濯したりと家事

をこなしています。また、買い物や私が行きたいところにも一緒に行ってくれたり、私や家族の話を嫌な顔せず聞いてくれて、仕事のことや相談事については提案やアドバイスをくれたりと、母でもあり友達でもあり先輩でもある…まだまだ未熟な私にとってかけがえのない存在だと思っています。

これまでいっぱい迷惑をかけてき

たので、これから少しずつでも親孝行等を通して、感謝の気持ちを伝えることができたらと思います。感謝の気持ちを伝えるために、母の日のプレゼントは母が欲しがっていたキーケースとポーチを贈りました。

これからも一緒にお出かけしたり、いろんなことを体験していこうね。母の日おめでとう。

なかや みのり・あかり

数字でみる近森会グループ

2018年度の実績 2018年4月～2019年3月

近森病院の実績は精神科を除く

近森会グループ	近森病院	近森病院	近森病院
職員数 1,976人 <small>(2019年4月1日現在)</small> 委託を含む実質的な職員規模は2,310人となり、多くのスタッフでチーム医療を展開し、日々患者さんをサポートしています。	救急車搬入件数 6,620件 院内救急車出動件数 87件 ドクターカー 38件 ドクターヘリ受入件数 98件	延べ入院患者数 152,708人 急性期病院として一般病床452床を確保。常時入院中患者さんは1日当たり平均418人。	退院患者数 10,005人 近森病院に入院されている患者さんが1年間に退院された数字です。平均在院日数は15.23日です。
手術件数 5,244件 急性期医療に取り組む近森病院では、一刻を争う患者さんが多く、日曜日関係なく、1日当たり平均14件の手術数です。	延べ外来患者数 148,614人 地域医療支援病院として地域に密着した医療を展開しています。外来患者さんは1日当たり平均407人(土日祝日を含む)です。	近森病院精神科 総合心療センター 精神科1日平均外来患者数 140人 デイケアパティオ復職率 80.0% および復学割合 21.0% メンタル就労移行割合 340名 ラポール月平均訪問数	近森病院 ひろっぱ講座 聴講者数 2,222人 9月より開催の無料出前講座。7カ月間で53講座開催。東は室戸、西は仁淀川町・須崎市まで、多くのお申し込みを頂きました。
近森リハビリテーション病院 在宅復帰率 83.7% 重症患者割合：日常生活機能評価10点以上 35.3% / 重症患者改善率 57.0% (日常生活機能評価点数4点以上改善)	近森オルソリハビリテーション病院 在宅復帰率 回復期病床・地域包括ケア病床 88.2% 87.3% 病床稼働率 99.0% 延外来患者数 14,413人	近森会グループ看護部 看護職員離職率 9.8% 平均看護職員数 752.5名 平均産休・育休者 44名 / 月 離職率全国平均10.9%を下回っています。	近森会グループ 延べ見学者数 150人 見学受け入れ件数は48件。(実習や部門での個別受入は除いています)